

自主学習会

古代の東国探訪学習会

(毎月第3木曜 13時30分～)

「東国」のうち主に関東を研究課題にした古代史学習会です。ヤマト王権に統一されるまで、ヤマトや九州に並ぶ『東国王朝』は無かったのか。関東の古代史を地元目線で掘り起こす学説、文献、自説など、勉強結果を持ち寄って発表、討論し、時には史跡探訪や懇親会を重ねています。



中級古文書学習会

(毎月第4金曜 13時30分～)

会員は江戸時代の古文書を読んでその時代背景を考え、内容を発表しています。現在堀田家の「町在御仕置留」(刑罰の判決書)を学習しています。時代は明治に移り、制度の違いも出てきて、違った興味も湧いてきます。

旅と街道 II (毎月第4水曜 13時30分～)

古くからある日本の街道を学習する会です。

2010年秋に成田街道の学習を終了して、新しく江戸時代の下総生(鮮魚)街道を取り上げます。班別に分かれて、調べたことの発表をおこなうとともに調べた道を実地に歩いて当時の旅に思いをはせるようなこともやっています。

歴博友の会入会のご案内

一友の会会員の特典一

- ❑ 国立歴史民俗博物館及びくらしの植物苑に無料で入館(入苑)できます。
- ❑ 友の会が主催する見学会、講演会、講座等各種のイベントに随時参加できます。
- ❑ 歴博や友の会の情報を満載した友の会ニュース(隔月刊)が無料で送付されます。
- ❑ 普通会员には歴博編集の歴史系総合誌「歴博」(隔月刊)が無料で送付されます。

会員の種類	年会費
新規普通会员	*8,000円
準会員	3,000円
家族会員(2人分)	5,000円

*2年目以降(継続普通会员)は年会費7,000円です。

問い合わせ：表記の財団法人 歴史民俗博物館振興会「友の会」係までお問い合わせください。

友の会ホームページでも詳細をご案内しています(検索画面から“歴博友の会”で検索できます)

国立歴史民俗博物館友の会

歴博友の会は、
わが国の歴史・文化総合的に研究・展示するセンターとして1240年を誇る国立歴史民俗博物館の歴史や発展に協力し、私たちの国の歴史や文化をより広く、より深く学ぶことなる有志の集まりです。現在、全国各地から約100名の老若男女が歴史や友の会活動を楽しんでいます。

友の会に入って歴史や友の会の行事を楽しみませんか！！

2009年歴博歴史の館『岡山考古の館』
10月2日～4日
毎年恒例「歴博歴史の館」は、今回、新館を岡山に、会場を新館に移動して「岡山のみどころ」を案内いたしました。大和政権の成立にも大きな影響を与えた謎の国「岡山考古の館」です。

会員による会員のための見学会
11月14日
大原町史跡「大原村史跡」の発掘・発見・成果の発表会。また、「橋の和」千原の歴史をテーマに、地誌家・歴史家の基盤から一歩、飛躍する「歴史」をテーマに、

鬼ヶ島山地区にての集合写真

栗田島民の奇から博南干拓地を巡る

友の会会員の特典

●国立歴史民俗博物館(常設展、企画展)は、2010年10月の更新情報(隔月刊)で公開してまいります。

国立歴史民俗博物館

友の会



(2010. 10 発行)

財団法人 歴史民俗博物館振興会
〒285-0017 千葉県佐倉市城内町1-1-7
国立歴史民俗博物館内
電話 043-486-8011
FAX 043-486-8008
<http://www.rekishin.or.jp>
E-Mail: tomonokai@rekishin.or.jp

自主学習会

友の会会員による自主学習会です。友の会会員ならどなたでも参加できます。興味のある学習会に参加しませんか。本格参加の前の見学もお受けしております。

近世史読書会(毎月第1水曜 13時30分～)

テキストは『東アジアの「近世」』(岸本美緒著 山川出版社)です。日本が同時代の東アジアとどのような係わりがあったのか「物流」(銀・生糸・火器など)を通して学習します。指導・助言を歴博名誉教授塚本先生にお願いしております。

日本の民俗を訪ねる学習会

(毎月第2水曜 13時30分～)

じょうずはへたのてほんなり
へたはじょうずのてほん也 世阿弥
お仲間の視点を尊重しつつ、狭い額を寄せ合っている民俗談話会は別称「二水会」(第二水曜日)。日本人の心のルーツを訪ねて・・・モットーは「学ぶより愉しむ」です。心掛けていることは「このドアから内へはエゴを持ち込まないで」です。



近現代史読書会

(毎月第3火曜 13時30分～)

近現代史の教材を用いて、月1回気軽に意見交換を楽しむ会です。昨年からの岩波新書の「日本近現代史」10巻を教材に、幕末から昭和戦後までに取り組み中。明治を経て、いよいよ大正デモクラシー・満州事変・日中戦争の時代へと進んでいきます。